

2014年7月8日

ISO メルマガ原稿(140708)

ISO9001・ISO14001 の改正状況(22) ISO14001 の DIS 発行

ISO14001 の次期改正の DIS(国際規格原案)が発行され、その原本(英文)の販売が開始されました。今後、ISO14001・DIS の内容についても可能な限り紹介して行きたいと思えます。

改正作業過程ではいろいろ変化がありますので細かな紹介は避けていますが、CD2 から DIS への変更で目に付くところ紹介したいと思います。

(1)簡条の表現での変更

DIS と CD2 の簡条の比較をページ 3 の表にまとめましたが、簡条での違いは次の表のとおりです。簡条だけを見ると、目につくところは次の 2 点でしょう。

- ・「リスク及び機会」が「脅威と機会に関連するリスク」に置き換えられている。
- ・「バリューチェーン」という用語が消えている。

DIS	CD2	2008 年版
6.1.2 著しい環境側面	6.1.2 環境側面の 特定	4.3.1 環境側面
6.1.3 順守義務	6.1.3 順守義務の 決定	4.3.2 法的及びその他の要求事項
6.1.4 脅威と機会に関連するリスク	6.1.4 著しい環境側面及び組織の リスク及び機会の決定	
6.1.5 取組みのための計画	6.1.5 取組みの計画	
6.2.2 環境 目的達成のための取組みの計画	6.2.2 目的達成 する ための計画	4.3.3 目的、目標及び実施計画
7.4.3 外部コミュニケーション	7.4.3 外部コミュニケーション 及び報告	4.4.3 コミュニケーション
「8.1 運用の計画及び管理」に含まれる	8.2 バリューチェーンの計画及び管理	「4.4.6 運用管理」の一部
付属書(A,B)	付属書	

(2) 「リスク及び機会」について

「リスク及び機会」については、これまで相当に議論されてきていますが、いわゆる付属書 SL Appendix 3(参考)で規定されている「分野固有の規格では、その分野固有の“リスク”を定義することもできる」に沿って、この 5 月のパナマ会合で、「リスク及び機会」を細分簡条では全て「脅威と機会に関連するリスク」に置き換えることが決定されました。

この背景は、ISO/TR31004(ISO31000 適用指針)の「リスクと機会は対の考え方ではない」、「リスクは組織を機会及び脅威又は双方にさらす」ということです。

(3)「バリューチェーン」について

「バリューチェーン」という用語が消えた背景は次のようです(パナマ会合)。

- ・組織の事業プロセスもバリューチェーンの一部である。
- ・バリューチェーン(組織の上流・下流)への管理及び影響は、組織の事業プロセスによって実施される。
- ・組織内の運用管理プロセス(8.1)とバリューチェーンの管理プロセス(CD2 の 8.2)は分離できない。

この結果として、バリューチェーンに関連した要求事項は、運用管理プロセス(8.1)の中に取り込まれています。

また、この関係で、「バリューチェーン」という用語の定義はなくなり、代わって、「ライフサイクル」という用語が定義されています。

ライフサイクル

原材料の取得、又は天然資源の産出から最終処分までを含む、連続的で、かつ、相互に関連する製品システムの段階群。

注記1 ライフサイクルは、活動、製品及びサービスが含まれる。

また、調達した物品及びサービスの他、製品の使用後の処理、並びにサービスの引き渡しが含まれることもある。

ライフサイクルの例として、設計、製造、輸送、包装、最終消費／廃棄がある。

ライフサイクルに関連する要求事項は次の通りです。

6.1.2 著しい環境側面(抜粋)

環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、組織は、次の事項を行わなければならない。

- －ライフサイクルの視点を考慮し、組織の活動、製品及びサービスについて、組織が管理できる環境側面及び関連する環境影響、並びに組織が影響を及ぼすことができる環境側面及び関連する環境影響を特定する。

8.1 運用の計画及び管理(抜粋)

ライフサイクルの視点と整合して、組織は、次の事項を実施しなければならない。

- －必要に応じて、購入する物品及びサービスに対する環境要求事項を決定する。
- －必要に応じて、組織の製品及びサービスの開発、配送、使用及び最終廃棄に対する環境要求事項が、設計プロセスで考慮されることを確実にする管理を確立する。
- －請負者を含めて、外部の供給者に関連する環境要求事項を伝達する。

以上

参考:ISO9001 及び ISO14001 の次期改正についてのこれまでのメルマガの記事は次に掲載されています。

・http://kanagawa-touroku.org/p/9000/?page_id=880

ISO14001:2015 DIS の構成

ISO 14001:2015 DIS	ISO14001:2004
序文	
1. 適用範囲	1. 適用範囲
2. 引用規格	2. 引用規格
3. 用語及び定義	3. 用語及び定義
4. 組織の状況	
4.1 組織及びその状況の理解	
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	
4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	4.1 一般要求事項
4.4 環境マネジメントシステム	4.1 一般要求事項
5. リーダーシップ	
5.1 リーダーシップ及びコミットメント	4.4.1 資源、役割、責任及び権限
5.2 環境方針	4.2 環境方針
5.3 組織の役割、責任及び権限	4.4.1 資源、役割、責任及び権限
6. 計画	4.3 計画
6.1 リスク及び機会への取り組み	
6.1.1 一般	
6.1.2 著しい環境側面	4.3.1 環境側面
6.1.3 順守義務	4.3.2 法的及びその他の要求事項
6.1.4 脅威と機会に関連するリスク	
6.1.5 取組みのための計画	
6.2 環境目的及びそれを達成するための計画	4.3.3 目的、目標及び実施計画
6.2.1 環境目的	4.3.3 目的、目標及び実施計画
6.2.2 環境目的達成のための取組みの計画	4.3.3 目的、目標及び実施計画
7. 支援	4.4 実施及び運用
7.1 資源	4.4.1 資源、役割、責任及び権限
7.2 力量	4.4.2 力量、教育訓練及び自覚
7.3 認識	4.4.2 力量、教育訓練及び自覚
7.4 コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション
7.4.1 一般	4.4.3 コミュニケーション
7.4.2 内部コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション
7.4.3 外部コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション
7.5 文書化した情報	4.4.4 文書類
7.5.1 一般	4.4.4 文書類
7.5.2 作成及び更新	4.4.5 文書管理 4.5.4 記録の管理
7.5.3 文書化した情報の管理	4.4.5 文書管理
8. 運用	4.4 実施及び運用
8.1 運用の計画及び管理	4.4.6 運用管理
8.2 緊急事態への準備及び対応	4.4.7 緊急事態への準備及び対応
9. パフォーマンス評価	4.5 点検
9.1 監視、測定、分析及び評価	4.5.1 監視及び測定
9.1.1 一般	4.5.1 監視及び測定
9.1.2 順守評価	4.5.2 順守評価
9.2 内部監査	4.5.5 内部監査
9.3 マネジメントレビュー	4.6 マネジメントレビュー
10. 改善	
10.1 不適合及び是正処置	4.5.3 不適合並びに是正措置及び予防処置
10.2 継続的改善	4.1 一般要求事項
付属書(A,B)	

MSS 共通事項からの新規要求事項

MSS 共通事項に追加した ISO14001 固有の要求事項